

Meridium メリディウム

ユーザーガイド

※付属の取扱説明書も必ず参照ください。

2026年8月版



【目次】

1. はじめに
2. 充電について
3. バッテリー残量の確認方法
4. ビープ音と振動信号
5. 基本の動作パターン
 - 5-1. 歩行
 - 5-2. 立位
 - 5-3. 座位
 - 5-4. 階段下り機能
 - 5-5. 坂道を下る
 - 5-6. 坂道を上る
6. 差高の調整
7. マイモード切替え
8. ブルートゥースのON/OFF
9. 階段下り機能のONとOFF
10. 保証と定期メンテナンス

1. はじめに

本資料は、メリディウムの使用に関する補助資料です。
必ず「取扱説明書(ユーザー用)」で、詳細事項の確認を行ってください。

その他の参照資料
別紙「Connectgoユーザーアプリ操作マニュアル」

2. 充電について

1) 充電

バッテリー使用期間は1日間です。必ず**毎日充電**してください。



本体後方に、充電口があります。



メロディー音が鳴った場合の対応

3回連続で充電器の接続と取外しを繰り返した場合、メロディー音が鳴りスリープモードが作動します。

この状態でメリディウムは機能しません。

再度、充電器を接続し、振動がするまで10秒ほど待ってから充電器を取外し使用してください。

充電時のピープ音と振動

ピープ音	振動信号	状態
1回短く	---	充電器を取付けた、または 充電が開始する前に、充電器が取外されました
---	3回短く	充電が開始されました。充電器を接続して3秒後に振動します 充電する際は、 必ず振動を確認してください

ピープ音	振動信号	状態 / 解決方法
4回短く 約20秒間隔	---	許容範囲外で充電が行われています。 充電ができません <重要> 充電条件 +10℃ ～ +45℃ 内で充電を行って下さい

充電後、充電器を取外した際のピープ音と振動

ピープ音	振動信号	状態
1回短く	1回短く (ピープ音の前)	Kenevoは正常に使用できます
3回短く	---	メンテナンス時期が近づいています Kenevoは正常に使用できます

充電器の状況を確認してください。

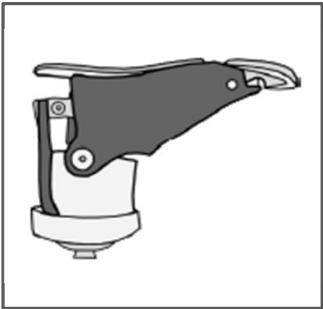
	両方のLEDランプが消灯	- 充電器が接続されていない - 充電器が故障している
	両方のLEDランプが点灯	- 充電中 - 残量50%以下
	黄色のLEDが点滅 緑色のLEDが点灯	- 充電中 - 残量50%以上
	緑色のLEDが点灯	満充電

3. バッテリー残量の確認方法

1) 義足を180°回転

義足を180°回転させた時になる音の回数で、確認することが可能です。

約2秒キープするとピープ音になります。



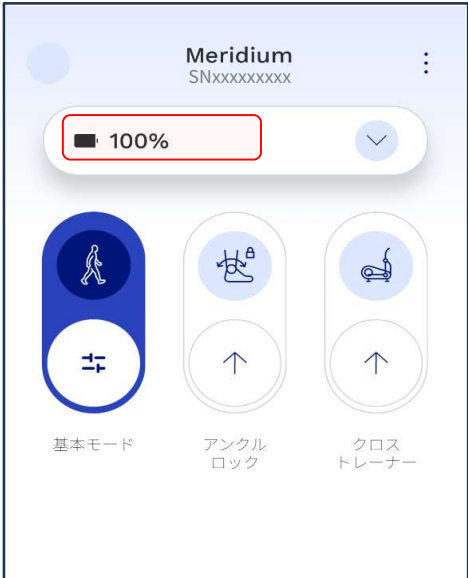
ピープ音	バイブレーション	バッテリー残量
短く5回	---	>80%
短く4回	---	>65%
短く3回	---	>50%
短く2回	---	>35%
短く1回	長く3回	20%以下
短く1回	長く5回	20%未満

[補足]

下記の状況ではピープ音はなりません。

- 充電器を接続している
- ミュートモードがON
- 音量をゼロに設定している

2) connectgoユーザーアプリに接続



4. ビープ音と振動信号

予期せぬ場面で、ビープ音や振動が発生した場合は、無視せずに必ず確認を行ってください。

1) オーバーヒートに関する信号

ビープ音	振動信号	状態	対処法
----	約5秒間隔で 1回短く	油圧シリンダーのオーバーヒート	活動量を抑えてください。 シリンダーは熱くなっていますので、 触らないでください

2) 充電残量に関する信号

速やかに充電してください。

ビープ音	振動信号	状態	対処法
----	3回長く	バッテリー残量レベル 25%以下	すぐに充電してください
----	5回長く	バッテリー残量レベル 15%以下	すぐに充電してください
10回長く	10回長く	バッテリー残量レベル 0%以下 ビープ音と振動信号が発信された後、 バッテリー切れモードに切替わり、その後、 電源が切れます	すぐに充電してください

3) エラー信号

担当の義肢装具製作施設へ連絡してください。

ビープ音	振動信号	状態	対処法
30回長く	5分間、断続的に	重大なエラー ：弁が動かないなど、セーフティモードに切替わらない可能性があります	制限付きで歩行可能です。 充電器の取付と取外しを行うことで解除される事があります 解除されない場合は、義肢装具製作施設にて点検を受けてください

セーフティモード：

致命的エラー（センサーが反応しないなど）が生じると自動的にセーフティモードに切替わります。

充電器の取付け（振動信号を確認）と取外しを行なう事で、セーフティモードを解除することができます。

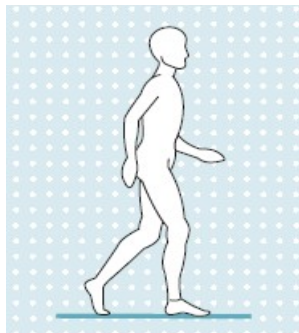
解除されない場合は、義肢装具製作施設にて点検を受けてください。

4) 上記以外の断続的なビープ音と振動信号

担当の義肢装具製作施設へ連絡してください。

5. 基本の動作パターン

5-1. 歩行



複数のセンサーが歩行状態を瞬時に判断し、滑らかな歩行を実現します。

① 踵接地時

底屈抵抗値が制御されます。

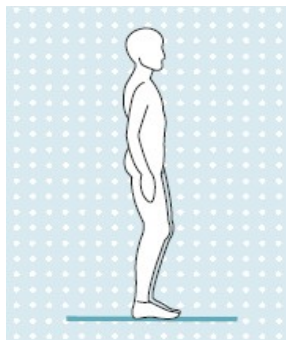
② 踏返し時

歩行スピードに応じて、背屈抵抗値が制御されます。

ゆっくり歩き：背屈抵抗値が強くなる。

早歩き：背屈抵抗値が弱くなる。

5-2. 立位



スタンディングストップ（背屈ロック）

- ・ 底屈位からゆっくりニュートラルポジションへ移動すると背屈方向へロックします。
- ・ 安全に立位を取る事が可能です。

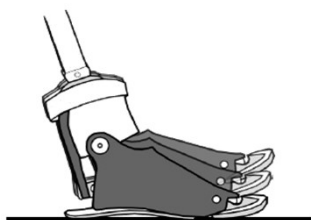
起動方法：

- ・ 歩行中、義足に健側を揃えてゆっくり止まる。
- ・ お尻を突き出すようにして、底屈位を作り、身体を再度起こす。

歩行再開時の注意点：

- ・ 歩行再開する場合は、義足側から開始してください。
- ・ 健足から歩行を開始した場合、背屈ロックは解除されません。

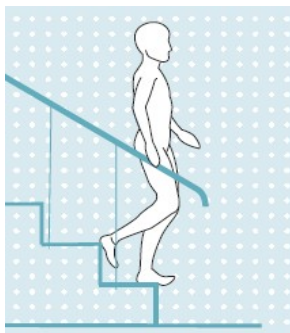
5-3. 座位



リリースモード

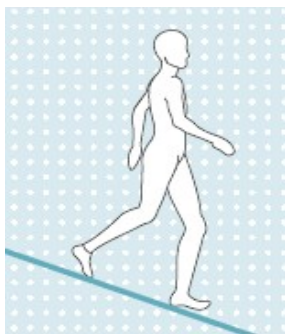
- ・ 踵に荷重をかけることで、底屈方向への抵抗が弱くなります。
- ・ 座位時に非常に有効です。

5-4. 階段下り機能



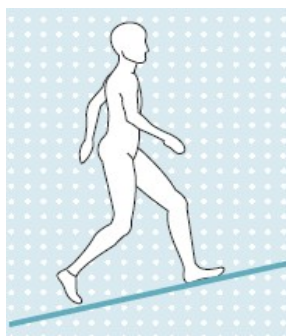
- ・ 階段の下り動作を検知すると、背屈抵抗が弱くなり、階段がおりやすくなります。
- ・ この時の抵抗値は、専用のソフトで設定されます。
- ・ 本機能はOFFにする事も可能です。

5-5. 坂道を下る



- 坂道の角度に応じて、底屈・背屈角度が調整されます。
- スタンディングストップ（背屈ロック）を起動させ、立位を保持する事もできます。

5-6. 坂道を上る



- 坂道の角度に応じて、底屈・背屈角度が調整されます。
- スタンディングストップ（背屈ロック）を起動させ、立位を保持する事もできます。

6. 差高の調整

- 1) connectgoユーザーアプリで切替え
安全を確保して実施してください。



「差高の設定」を選択

立位をとります

- ・平らな面で立位
- ・つま先を揃える
- ・体重を均等にかける

正しい姿勢が取れたら「新しい差高を適応」をタップします。

- 1回ビープ音
- 差高調整が完了

- 2) 特殊動作で切替え

安全を確保し、切替えを実施してください。
片足立ちに不安のある方は、アプリで切替えを行ってください。



- ・ 膝を伸ばし多状態で、義足を外側に3回振ります
- ・ 1回ビープ音
- ・ 健側に足をそろえて真っすぐ立ちます
- ・ 1回ビープ音
- ・ 差高調整が完了

7. マイモード切替え

1) connectgoユーザーアプリで切替

安全を確保し、切替えを実施してください。



connectgoユーザーアプリを起動させ、切替えたいモードの↑を上方にスワイプします。

選択されたモードが濃い青に変わります。

ビープ音が1回なり、モードが切替わります。

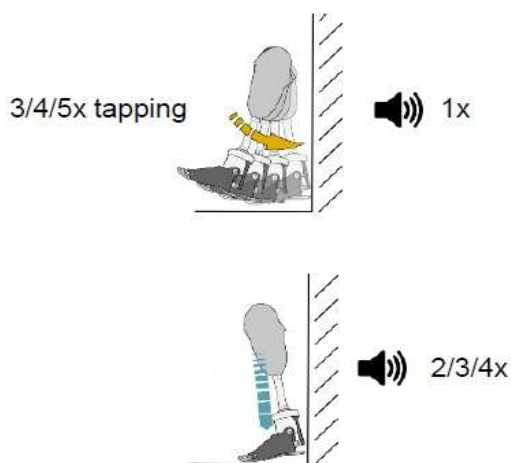
[補足]

音量を最小に設定している場合は、ビープ音は鳴りません。

2) 特殊動作で切替

安全を確保し、切替えを実施してください。

片足立ちに不安のある方は、アプリで切替えを行ってください。



- メリディウムの踵を、壁または健側つま先に規定回数キックします。
- 1回ビープ音
- つま先に荷重をかけます
- 切替えが成功したら規定回数ビープ音がなります

歩行モードへ戻す際は、同様の動作を再度行います。

モードからモードへの切替えはできません。



歩行モードへ戻らない場合

特殊動作で上手く切替わらない場合は、コックピットアプリを使用するか、充電器を接続してください。

8. ブルートゥースのON/OFF



connectgoユーザーアプリを起動させます。
メニュー「パーツ状態」を選択します。

用途：飛行機に乗る場合など、必要に応じてOFFにしてください

注意：ブルートゥースがOFFの場合、下記の接続が行えません

- ① connectgoユーザーアプリとの接続
- ② connectgo.pro調整アプリとの接続

再起動：充電器を接続する

メリディウムを180°回転させ、ビープ音を確認する

9. 階段下り機能のONとOFF



階段下りを検知すると、背屈方向への動きが大きくなる機能です。

connectgoユーザーアプリを起動させます。
通常モードの設定を開きます。

[補足]

機能の詳細については、本資料「5.基本の動作パターン」を確認してください。

10. 保証と定期メンテナンス

重要

内容の詳細は購入時にお渡しする保証書にて必ず確認してください。
必ず定期メンテナンスを受けて頂く必要があります。

1) 保証

メリディウムの保証期間には「3年保証」と「6年保証」があります。

保証期間を超えた場合の修理は有償となります。

また、保証期間内であっても不可抗力の起因による、またはオットーボック社製以外の部品との組み合わせた事により発生した機能不全は、**保証の対象となりません**。

定期メンテナンスが決められた時期に実施されなかった場合も、**保証対象外**になります。

詳細は「保証書」を確認してください。

2) 定期メンテナンス

3年保証の場合：24ヶ月目の前後1ヶ月以内

6年保証の場合：24ヶ月目、及び48ヶ月目の前後1ヶ月以内

*保証書には2ヶ月後までと記載されていますが、代替品との交換や、弊社にメンテナンス品が到着するまでの期間を考慮し、1ヶ月後までには実施をお願いいたします。

24ヶ月目のメンテナンスが実施されなかった場合、保証期間は24ヶ月に短縮されます。

24ヶ月目のメンテナンスは実施したが48ヶ月目のメンテナンスが実施されなかった場合、保証期間は48ヶ月に短縮されます。

メンテナンスの際は、代替え品をご用意させていただきます。

3) メンテナンスに必要な物品

下記3点をご準備ください。

- ① メリディウム本体
- ② 充電器
- ③ 保証書

4) メンテナンス期間 (2026年8月現在)

定期メンテナンスに要する期間は、約2ヵ月かかります。

ただし損傷の度合いによっては、修理を実施するため、数ヶ月かかることがあります。

あらかじめご了承ください。

5) 定期メンテナンス時期のお知らせ

connectgoユーザーアプリに通知



充電器を取外した時のピープ音の回数

- ・ **3回ピープ音**
通常は1回

ottobock.

掲載内容の無断使用禁止

掲載されている内容、文章、画像については、無断で使用もしくは転載する事を禁止します。

オットーボック・ジャパン 株式会社
www.ottobock.com/ja-jp

2026年8月版